

平成26年度における総合防災訓練の実施結果について

今年度の北海道事業所の総合防災訓練を、昨年度に引き続き、増設施設と当初施設で実施しましたので、結果を報告します。

	増設施設	当初施設
実施年月日 時刻・天候	平成26年7月8日(火) 10時00分～11時00分(天候:晴れ)	平成26年9月11日(木) 10時00分～11時08分(天候:晴れ)
参加人員 ・ 装備	・公設消防隊:隊員約29名、車両9台 (指令車1台、はしご車1台、消防車4台、 救急車1台、その他車両2台) ・JESCO: 31名 ・MEPS: 79名 ○合計 139名	・公設消防隊:隊員約32名、車両10台 (指令車1台、消防車4台、救急車1台、そ の他車両4台) ・JESCO : 36名 ・MEPS: 91名 ○合計 159名
訓練の目的	特に増設施設を対象として、緊急地震速報受信時の安全確保、地震時の避難、設備点検、119番通報、火災・負傷者発生時の対応、高所要救助者発生時の対応、津波警報発生時の避難、及び公設消防との連携等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。	特に当初施設を対象として、緊急地震速報受信時の安全確保、地震時の避難、設備点検、119番通報、火災・漏洩・汚染者発生時の対応、続発火災発生時の避難、及び公設消防との連携等、総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。
想定事象	① 地震発生(震度4程度:想定 60gal) ② 火災発生(管理棟1階 業者詰所(非管理区域)から出火) ③ 固形物搬送装置室(管理区域レベル1)で作業員が負傷、歩行困難 ④ 屋上で作業員が逃げ遅れ、屋内に避難できず(高所要救助者の発生) ⑤ 公設消防への指揮権委譲後に、管理棟2階会議室から火災発生	① 地震発生(震度4程度:想定 100gal) ② 火災発生(タンクヤード(非管理区域)から出火) ③ 大型/車載解体エリア(管理区域レベル3)で漏洩発生 ④ 同エリアで逃げ遅れた作業員が負傷しPCB汚染を受けるとともに歩行困難 ⑤ 公設消防への指揮権委譲後に、管理棟3階休憩室から火災発生
訓練項目	① 緊急地震速報受信時の行動(棚等から離れ、机下に頭を入れる、等) ② 地震計吹鳴(40gal 以上)→避難、対策本部、指揮本部、消防隊設置(職員駐車場) ③ 設備点検の実施 ④ 火災発生時の初期対応(放水訓練含む)及び連絡 ⑤ 高所要救助者発生時の対応及び連絡	① 緊急地震速報受信時の行動(棚等から離れ、机下に頭を入れる、等) ② 地震計吹鳴(40gal 以上)→避難、対策本部、指揮本部、消防隊設置(職員駐車場) ③ 設備点検の実施 ④ 火災発生時の初期対応(水消火器による放水訓練含む)及び連絡 ⑤ PCB 汚染者発生時の対応及び連絡 ⑥ 公設消防への指揮権委譲における対応

	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ (公設消防指揮権委譲後)別箇所での火災発生の対応及び連絡 ⑦ 津波警報発生時の避難 ⑧ 上記通報連絡 ⑨ 公設消防における消火・搬送活動 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 管理棟内での続発火災発生時の避難 ⑧ 上記通報連絡(行政関係及び本社) ⑨ 公設消防隊における消火・除染・搬送活動
訓練結果	JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。	JESCO、MEPS 及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。
反省事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全体 <ul style="list-style-type: none"> ① 来年度以降、当初・増設の共通定検期間(9月下旬)に、当初・増設合同で総合防災訓練として実施できないか、検討してはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → 増設施設の訓練は昨年からはまったばかりなので、もう少し慣れてから合同訓練を実施することで考えている。 ・ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ① 水訓練時、ホースを引き出しすぎて、角々で折れてしまった。 <ul style="list-style-type: none"> → 別途放水訓練を実施する。 ・ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> ① 津波注意報・津波警報・地震に関する情報が震度や警報発表のみであった。 <ul style="list-style-type: none"> → 震源地や規模など、実際に即した情報を対策本部長に提供する。 ② 負傷者を担架で搬送するという項目が無かった。(公設消防のみ搬送あり) <ul style="list-style-type: none"> → 今後、増設側でエアストレッチャーの訓練を単独で実施する。(当初では実施している) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報不足解消にトランシーバーが有効である。 <ul style="list-style-type: none"> → トランシーバー台数を増やす。また、本部長指示はトランシーバーを使い、情報共有を図る。 ・ソフト面 <ul style="list-style-type: none"> ① 避難者を統括する役職者が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> → 役職を新設する方向で検討する。 ② 各隊の本部長、副本部長、班長をヘルメットでも識別できるようにした方が良い。 <ul style="list-style-type: none"> → 外用ヘルメットにベストと同じ色のテープを役職により多重に巻きつけ、識別を図る。 ③ 公設消防隊の車両は事前に位置決めをしているため、誘導なしに所定の場所に移動した。 <ul style="list-style-type: none"> → 次回訓練では、公設消防本部前に待機し、対策本部長からの権限移譲後に移動する。

- ・ 添付資料に訓練の写真(実施時刻入り)を示す。

以上